

# おおまるひろば 7月号

大丸ゆうし保育園 子育てひろば  
稲城市大丸82-4

TEL 042-377-6249 FAX 042-378-4505

URL <https://www.higashihoikukai.or.jp/>

令和6年6月26日(水)発行



## ★7月の園庭開放★ 9:30~12:30(12:15にはお片付けを始めます)

2日(火) 3日(水) 9日(火) 10日(水) 16日(火) 17日(水)

23日(火) 24日(水) 30日(火) 31日(水) です。

\*雨天の場合は、新園舎玄関ホールを開放しています。

\*31日(水)には、希望者の方に身体測定と手形スタンプを行います。

園庭開放は、  
予約はいりません。  
どなたでもどうぞ。

## ★7月のつどい★

つどいは月1回の参加になります。内容を確認して参加可能なものにご参加ください。

### <保育所体験>

【時間】10:00~11:00

【定員】各5組

### ●いちごの会 ~1歳児クラスと一緒に~

7月11日(木)

園庭遊び『泥んこ遊び』(雨天の場合は室内遊び)

園児と一緒に、園庭で泥んこ遊びや水遊びを楽しみましょう。

着替え・タオル・水分補給をお持ちください。

★親子共汚れても良い服装でお越しください。

### ●さくらんぼの会

~0歳児クラスと一緒に~

7月18日(木)

室内遊び『ふれあい遊び』

園児と一緒に、手遊びやふれあい遊び、手作り玩具等を楽しみましょう。

### <育児講座>

### ●栄養士による離乳食講習会

7月25日(木)

10:00~11:00

定員5組

離乳食の作り方や保存の仕方等、食事の事なら何でもご相談ください。

妊婦さんやこれから離乳食を始める方の参加も、お待ちしております。

## ★つどいのご予約について★

◎予約受付時間

\*月曜から金曜日までの10:00~16:00

\*毎月1日からつどい前日の16:00までが

受付になります。(1日が土日祝日の場合は、翌日又は月曜日よりになります。)

◎申し込み方法

\*電話又は、園庭開放にお越しの際にお申し込みください。ご予約は定員になり次第締め切らせていただきます。キャンセルの場合はお電話にてご連絡ください。尚、一人で複数の方のご予約はご遠慮ください。

\*兄弟姉妹でのご参加希望の場合は、上のお子さんの年齢に合わせたつどいにご参加ください。

## ★講演会へのお誘い★ ~子どもの安全管理について~

\*「赤十字救急法・幼児安全法指導員」「赤十字防災ボランティアリーダー」の資格を持たれている、和泉潤さんによる保護者向けの講演会です。ご希望の方は保育園までご予約ください。

日時：7月13日(土)10:00~12:00

場所：大丸ゆうし保育園

## ★7月のおしゃべりの会★

4日(木) 10:00~11:00

毎日忙しく子育てしている方、これから出産予定の方、どなたでも参加可能です。ちょっと座っておしゃべりしませんか？  
保育園の職員も一緒におしゃべりに参加します。

この時間の間、好きな時にいらしてください。

\*予約は不要です。

\*水分補給をお持ちください。

\*園庭側の門からお入りください。

\*新園舎玄関ホールを開放します。

## 栄養士より



## ～食事を通して五感を刺激～

生まれながらに持っている「視覚」「味覚」「嗅覚」「聴覚」「触覚」といった5つの感覚は、外からの繰り返しの刺激により発達し、体と脳の成長を促します。特に食べる事は、一度に五感を刺激することが出来る為、体だけでなく脳の発達にも大きな影響を与えます。毎日の食事で、五感を上手に刺激して、健康な体と脳を育てましょう。

### ■五感とは

人は、体を健常かつ安全に保つ為に、感覚器官である「目、耳、鼻、舌、および皮膚」から情報を受け取っています。この情報は、神経系が利用出来るシグナルに変換され、脳はこのシグナルを「見た目（視覚）、味（味覚）、臭い（嗅覚）、音（聴覚）および感触（触覚）」として解釈します。子どもは、この五感を統合して「心地よい（安全・安心）」と覚えていく為、食事においても「五感」を意識することが大切です。



### ■記憶と結びつく食体験

複数の感覚を使って経験した食事は、子ども達の記憶に残り、次に子ども達が食べ物を選択する手がかりとなります。食事は「楽しいもの」として記憶する事が何よりも大切です。五感をフル稼働させた結果、「食べない」という事があるかもしれませんが、**今は練習の時!**とおおらかな気持ちで見守り、無理強いせず楽しい食体験を積み重ねる事を心がけましょう。

## ～水の事故に気をつけよう～

## 看護師より



子どもは声や音を出さず静かに溺れる事もあります。少しの時間、少しの水量と油断せず、子どもの見守りと合わせて、溺水事故が起こらない環境づくりを行いましょう!

### ●子どもの水の事故を防止するためのポイント●

**プール** 禁止事項などが定められていたら必ず守る。  
\*排水口には近づかない。  
\*水上設置遊具を利用する際は、係員の指示に従い、適切な遊び方・注意事項・禁止事項を守る。

**浴室** 子どもが浴室で溺水し死亡する事故が多発!!  
\*大人が洗髪する際には、子どもを浴槽から出す。  
\*子どもは大人の後には浴室に入れ、先に浴室から出す。  
\*子どもだけで入浴させない。  
\*浴槽、洗濯機、洗面器、バケツに水を溜めたままにしない。



**海・川** ライフセーバーや監視員等がいる海水浴場の遊泳エリア内で遊ぶ。  
\*川の流は一見穏やかそうに見えても、流れが一定ではない為、穏やかそうな流れで事故は起きている。  
\*ライフジャケットを使用。  
\*大人は子どもから目を離さずに手の届く範囲で見守る。

参考資料：[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/)

◆近年では水遊びの際にライフジャケットを着用させる方が増えています。子どもにあったライフジャケットを選び、正しい使い方をして子どもの命を守りましょう。

### ☆育児相談を行っています☆

子育てについて、食事の事、健康の事、睡眠の事やお友達の事等、なんでもお気軽にご相談ください。園庭開放やつどいでもお話を伺いますが、電話によるご相談、また来園してのご相談もお受けしております。

月曜日から金曜日 10:00～16:00 TEL: 042-377-6249